

農畜産物

豊作の19年産総重量、食料自給率もアップ

十勝管内の2019年産農畜産物は、全体的に豊作に恵まれて各作物の収量もアップした。総重量は、前年比8%増の約456万トとなった。記録が残る13年以降では、17年産の約460万トに次ぐ2番目の水準。食料自給率(カロリーベース)は前年から10.8%増えて124.0%になった。

総重量は収量を表し、ビートや生乳など重さのある品目、また作付面積が大きい品目が好調だと増加しやすい。ホクレン帯広支所の推計によると、耕種全体では10.1%増の約323万5000ト。18年産は

夏場の長雨、低温、日照不足の影響で軒並み収量を落としたが、19年産は夏場以降の天候に恵まれ収量を確保した品目が多かった。

小麦は32%増の約25万8000トで伸び幅が最も大きかった。ビートは根の肥大が順調に進み、3%増の約173万7000ト。豆類は16%増の約7万5000ト。18年産は不作だった小豆が作付面積の増加で32%ほど収量が伸びた。小豆の作付け増により、その分面積が減った大豆は12%減となった。

野菜は6%増の約27万ト。従来品種より直径が太いとかち太郎の作付けが始まったナガイモは12%増。生育期の天候が良く、大玉傾向だったジャガイモも12%増の約89万4000ト。

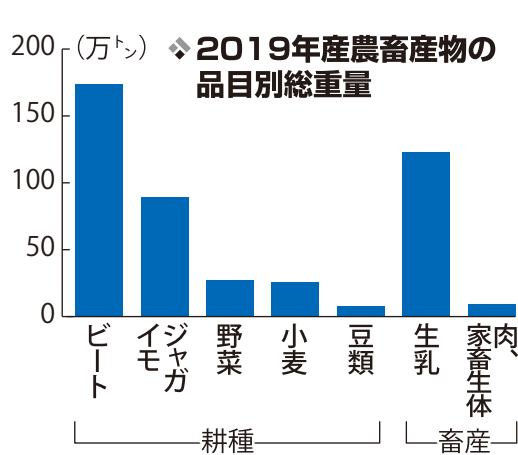
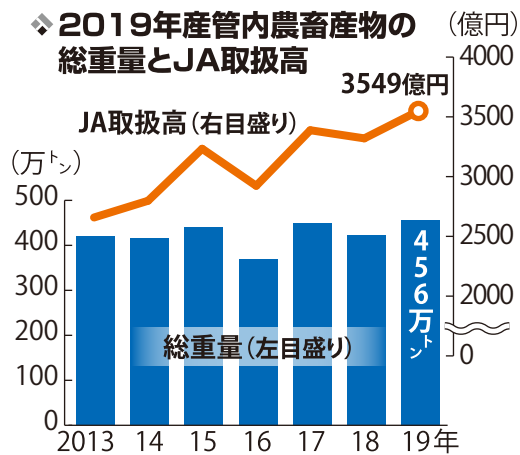
畜産部門は3%増の約132万4000ト。うち生乳が約122万9000トだった。生乳は酪農家の規模拡大に加え牧草の質も良く、3%増となった。牛肉、豚肉、家畜生体の合計は約9万5000トと前年同水準で、安定した需要がある牛肉は5%増と数字を伸ばした。

食料自給率はフードバレーとかち推進協議会がまとめた。19年産の農畜産物の生産量(推計)は前年比8%増の約456万ト、耕種は10%増の323.4万ト、畜産は3%増の132.4万ト。これに対し管内人口は0.4%減の33万7407人だった。

前年を上回ったのは、カロリーの高い小麦や豆類、ジャガイモの収量が伸びたのが要因となっている。自給率は十勝の生産力の指標とし、対外的なPRにも活用するため積算している。農畜産物の生産量をカロリー換算し、管内住民のカロリー摂取量で割って算出した。これまでの最高は17年産の126.6%で、19年はこれに次ぐ2番目の高さだった。



収穫後、保管場所に山積みされるビート。大ぶりの豊作で重量が伸びた(2019年10月、帯広市で)



ひっぱりくん® 動力ユニット

動力で
らくらく〜



定植動画へGO!!

HPD-2



日本甜菜製糖株式会社

Nippon Beet Sugar Manufacturing Co., Ltd.

札幌営業所 札幌市中央区北3条西4丁目1-1 ☎011-261-6142

ペーパーポット 検索 <http://www.paperpot.jp/>

ロール式施肥播種機

2020年春発売



FSS-4 (4輪)



- 高速時でも安定した播種を実現
- ダブルタンクを搭載
- 対応種子:ビート



土回収装置付主詰機 DON-C



ターン反転機 DON-R

ロール式施肥播種機・DONシリーズのお問い合わせは

サークル機工株式会社

帯広営業所 帯広市稲田町南9線西13番地1

☎0155-66-9451

本社 滝川市幸町3丁目3-12

☎0125-22-4350

サークル機工 検索 <http://www.circle-kiko.co.jp/>

